

# 全体討議 | 2/20

- 考え方は示されたが、詳細スケジュールがない。検証など、必要な前掛ことかで示されていない。  
市民参加の本質について、きちんと考え方でいるのか。  
アシスタントの中立的な役割も機能していないのでは。(アシスタントの仕事のあり方)  
意見のまとめが簡単すぎる。会議録は正確性を確保すべき。
- 発言に対して主觀を入れずに記録を  
課長の意見発言部分も記録を
- 前回の劇の部分も削除されている。  
書き出したものに対して、きちんと答えを出していく。  
~10:00までグループで  
デモ化 参加しない  
人にも分かるように  
積み上げていく。
- 模造紙の保証等を複数  
ギロンが成された証拠と  
きちんと残しておくべき。
- 市民と行政の向くへ違いについての  
解答がない。  
市民からの要請への回答が書かれていません。

- 発言したそのままを書いて下さい。  
市民が求めることに対して主催者(市)は  
解答するギモンがある。
- ← もともとには後日修正してもらう方針  
であったと思う。  
← パワーコメ前にも市民と充分に話し合いたい  
← 市民参加についての課題、一方を拡散的に出していくのがWS。その後、WSは  
違う手法で、集約のギロンとして。  
パワーコメ前までに形をつけていくことを  
考えている。  
← 市民参加の考え方については市内でギロン  
している。必ず示したいと考える。
- 確認のルールについては、市より、きちんと  
参加者はフォローしてもらわなければ困る。  
(途中参加者にも分かるように)
- 市の職員がグループに入ることになっていたが  
守られていません。  
質問への解答がない、明確な答えもない。  
市の職員もともに話して、意見をまとめていくのが  
本来のワークショップだと思う。  
← 職員はまだグループに入れていない状況だが  
グループ討議になれば4名入ってやりたいと  
思う。
- 問題があるのに市からの答えがないまま  
進むことはあり得ない。  
行政の不足な部分は市民が参加して取り組んでいい

- 職員の必要性はまず「フレーフォーキロン」と選定するやり方で
- 課長から「すり合わせ」と言っていたが、市民の納得が得られることが「前提」ということかよいか。
- 職員はちゃんと自分の意見が言えるなら参加してほしい。(たまっているだけでは意味ない)
- 前回、市から骨抜きにされた条例が策定され、理由をより明確にすべき(3年半か4年半)出発点が違うと、結局前回と同じになしてしまう。前回とは違うことを約束してほしい。
- 職員はきちんと考案をもつて、たとえ攻撃されるのはやめてもいい。
- WS後もヨロンを市民と進めていきたい
- 職員が個人的な意見を言ったことで不利益にならぬ配慮を。